

平成28年度第1回半田市図書館協議会議事録

開催日時	平成28年6月7日(木)	14時00分～ 15時45分
開催場所	図書館第3会議室	
会議次第	【辞令伝達】 【正副会長の選任】 【議題】 ・報告事項 (1)平成27年度図書館協議会における検討結果について (2)平成27年度図書館利用状況等について (3)平成28年度予算及び図書館活動について ・その他	
出席委員:8名出席 (欠席委員:2名欠席)	(委員)前田佳男、服部裕子、近藤貴美子、後藤千恵子、畑野園江、田上幸子、石川幸子、榊原伯明 (石本仁、梅田文雄) ※敬称略	
事務局	図書館長 間瀬直人、亀崎図書館長 早川直樹 副主幹 戸田豊志、田村元成 主査 榊原智子	
その他出席職員	教育長 加来正晴	
次 第	議 事 概 要	
開会宣言	(館長)ただいまより、平成28年度第1回図書館協議会を開催します。 本日は、8名の委員に出席いただいております。過半数の出席をいただきましたので、図書館条例施行規則第20条第2項の規定により、会議は成立しています。	
【辞令伝達】	これより半田市図書館協議会委員の辞令伝達式を行います。 今回の委員さんの任期は、半田市図書館条例第9条第4項の規定により2年間で、平成30年5月までです。 (教育長から各委員に委嘱状伝達)	
	(館長)続きまして、教育委員会を代表して教育長よりご挨拶申し上げます。	
【あいさつ】	(教育長)6月11日は「学校図書館の日」として制定されています。平成9年6月11日に学校図書館法の一部を改正するという法律が施行されました。内容は12学級以上の学校には必ず司書教諭を置かけなければならない、それ以下の学校も努力義務が課せられます。しかし、新しい人が来るわけではなく、その学校の先生の中で司書の資格を持った先生(司書教諭)を配置して、図書館教育を充実させていこうという狙いです。	

	<p>新聞に大阪女学院大学学長の加藤映子先生の記事が掲載されていました。アメリカの親が子供にする読み聞かせと、日本の親が子供にする読み聞かせは、ずいぶん違うとのこと。アメリカ人が日本人の読み聞かせを見ると、とってもほほえましく思えるそうです。なぜなら日本の親子の読み聞かせは本の内容よりも親子のふれあいを大事にしているように見えるからだそうです。アメリカはスキンシップや内容はもちろんのこと、それよりも重視するのは読み聞かせによって言葉の力を伸ばすことを目的としている。どちらも大事なことだが、そういう大きな違いがある、といったことが新聞に載っていました。また、読み聞かせで大事にしたいことが3点記事に書かれていました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最初から最後まで一気に読んでしまうのではなく、場面場面で立ち止まって、子どもとの対話を取り入れることが大切。そこから子供の想像力や思考力、言葉の力が身についてくる。「この先どうなるんだろう？」といった問いかけを織り交ぜて読み聞かせをするとよい。 2. 読み聞かせを一日の生活の一部にしていくこと。寝る前の10分とか、生活のリズムにしていくと、寝る前に子供たちもお母さんの読み聞かせを楽しみにしてぐっすりとお眠りしていく。 3. 読み聞かせでは、お父さんの出番も大切である。ということが書かれていました。 <p>半田市の図書館教育・読書指導については本館・亀崎図書館ともに司書が意欲的に取り組んでおり、学校での読み聞かせやブックトークをしています。それが子供たちの楽しみになっています。全国学力学習状況調査(小6と中3対象)で国語と算数はまあまあ全国平均並みですが、読書が好きか?という問いに対しては平成27年度、小6の75.5%が「好き」と回答がありました。愛知県では小6が70.8%、全国は72.8%。中3は76.7%。愛知県では67.4%、全国では67.9%。中学生はダントツで10ポイントぐらい高く、平成26年度も同じような結果が出ています。26年から27年にかけてさらに全国・県を上回る結果が出ています。年々読書好きの子が増え、4分の3を超える子供たちが、「読書が好き」と答えている。ただ、「読書が好きではない」、「ひと月に1冊も読まない」という子もいるので、みんなが読書に親しめるような環境を作っていけたらと思います。皆様のご意見をいただきながら、より良い読書環境を作っていきたいと思っています。</p>
	<p>〈館長〉続きまして、協議会委員の皆様の自己紹介をお願いいたしますので名簿をご覧ください。 (各委員自己紹介)</p>

	事務局の自己紹介をさせていただきます。 (事務局自己紹介)
【正副会長の選任】	<p>〈館長〉続きまして、正副会長の選任に移ります。 ご意見のある方は、挙手をお願いいたします。 (委員)事務局のお考えはいかがですか？ (館長)事務局案といたしましては、会長には前田佳男様、副会長には服部裕子様をお願いしたいと存じます。 (異議なしの声あり) (館長)ありがとうございました。ご承認をいただきましたので、会長を前田佳男様、副会長を服部裕子様をお願いいたします。 (前田会長挨拶)</p>
	(館長)本来ですと、ここから議事に入っていくところですが、新しい委員の方が多いということで、図書館にはどれぐらいの本があるのか、どんな部屋があるのかご覧いただきたいと思えます。
	(閉架書庫・開架室・2階視聴覚資料室、特別資料室、視聴覚室を見学)
	(館長)それでは、ただいまから議事に入ります。半田市図書館条例施行規則第19条第3項の規定により、会長が議長として進行していただくこととなっています。会議の進行を、前田会長をお願いいたします。
【議題】(1)平成 27 年度図書館協議会における検討結果について	<p>(前田会長) それでは議題に基づいて進めていきます。(1)平成 27 年度図書館協議会における検討結果について、事務局から説明をお願いします。 (事務局)昨年度図書館協議会にて検討した大きなこととして『『魅力ある図書館創造調査特別委員会』からの提言への対応について』をご覧ください。「魅力ある図書館創造調査特別委員会」とは市議会議員により構成されたもので、そちらからの提言に取り組むということで答申を頂戴しました。</p> <p>1. 早期に取り組む事項 提言1. 民間のアイデアは柔軟でいろいろな発想が期待できる。業務委託や指定管理などの管理運営方法について早急に検討すること。 (答申)民間に見習う点も多いが、将来的には司書の退職等の新陳代謝を見据えて当面は経験豊富な司書による学校支援やボランティア団体との協力が良好なので、直営による図書館運営継続が望ましい。 (図書館側の対応)民間の優れた部分を積極的に取り入れ経費面においても徹底した合理化を図ることで更なるサービスの</p>

向上、効率的な図書館運営を目指していく。

提言2. 来館が困難な方への対応

(答申) 利用しやすいサービスの検討をしてほしい。(図書館側の対応) 従前から体の不自由な方への無料貸し出しサービスを実施しているが、それ以外に

- ・介護保険施設への宅配貸出
- ・大型絵本・紙芝居などの読み聞かせ

を始めている。

文音会による視覚障がい者への対面朗読サービスを図書館だけでなく市民交流センターでも始めた。

提言3. 図書館以外の施設での本の返却

(図書館側の対応) ブックポストを平成28年2月市役所に、8月乙川・岩滑・神戸・板山に設置する。

提言4. 駐車場の利便性向上

(図書館側の対応) 以前から言われているが、場所の限度があり、南側の駐車場から図書館入り口までの玉砂利が歩きにくいので、平成27年7月に舗装道路を整備した。今年度は南側駐車場へ誘導する看板を設置する。図書館だけでなく科学館・体育館で行事があった時に駐車場が埋まるので、空の科学館や体育館と協議して駐車場の案内表示を検討したい。

2. 建て替えや移転を見据え、中長期的に取り組む事項

提言1. 喫茶コーナーで本の閲覧ができるサービスを導入してほしい。現在、そのような形式の図書館が増えている。

(答申) 喫茶コーナーを設けることは空間的な制約から困難である。エントランスホールに喫茶店があるので、そこを利用してもらえばよい。

(図書館側の対応) 管理運営上、ICタグを導入しないと喫茶コーナーでの閲覧・本の管理が難しいので、大規模改修あるいは新しい図書館を建てる時に滞在型の図書館を目指した導入を検討する。

提言2. 書架の配置や本の展示方法の工夫

(答申) 家でも職場でもない第三の居場所としてゆったりと時間を過ごせるスペースを確保してほしい。

(図書館側の対応) 今年書架を動かして読書席を作る。

また利用頻度の低い資料を閉架に移し、常に新鮮味がある本棚を作る。時事に合わせた魅力あるテーマの特設コーナーを充実させる。すでにいろいろな特集を行っており、現在は「〇〇の歴史」。閉架にある資料で中身は面白いがあまり知られていない資料を並べている。

提言3. 駐車場の整備

余裕を持った駐車場の整備を計画することや、イベント等の日程調整による混雑の緩和を図る。

提言4. IC タグの導入。本の予約・貸し出し・返却など様々な面において業務の効率化を図ることが可能になり、利便性の向上が期待できるため、将来的な導入に向け十分に検討すること。

(答申)自動貸出機、近くだとおおぶ文化交流の杜図書館が行なっているが、自動貸出機は人とのつながりが希薄に感じられる。

ICタグの特性を生かした、予約図書受け取りコーナーや自動書庫システムは魅力的であり、新館建設時にはぜひ検討してほしいということだが、ICタグが1つ 70 円から 90 円する。本全部につけると数千万円かかる。最大限に効果を発揮するには現行施設では困難なので、大規模改修や新館建設の際に導入を検討する。

3. その他

開館日数の拡大 今年度から第2火曜日の休館を廃止した。

学校の読書支援 昨年度から学校図書館だけでは足りない本をバックアップするため、授業で使う調べ学習用の本を司書が選んで学校へ届けている。

貸出文庫 今まであったところに加え、昨年9月に板山ふれあいセンター、28年4月からはクラシティ半田の「はんだっこ」にも貸出文庫を開設した。

親子で本に親しんでいただくため、5つの児童センターに「こっこ図書館」を開設した。

Eーレファレンス 今実験的に行っているが、インターネット予約の登録をしている人が調べ物をするときには気楽にネットから問い合わせをしていただき、それにメールで回答する仕組みである。来月から本格実施に入る。

以上で平成27年度図書館協議会における検討結果の説明を終わります。

(館長)昨年度の委員には議会から出た要望に対して、4回の協議会を通じて、ご意見をいただきました。そして予算の範囲内でできることから進めてきました。まだ、できていないことも今から行っていきます。また来年に向けて皆さんからご意見があればお願いいたします。

(前田会長)館長からお話が合ったように、今までいた委員の方はある程度おわかりですが、新しい委員の方は初めてなので、ぜひ聞いてみたいことがあれば質問してください。

(委員)半田市立図書館と亀崎図書館は本の並べ方が全く同

	<p>じではないですね。</p> <p>(事務局) 基本的には日本十進分類ですが、児童書で本館がティーンズにしているものを亀崎では一般書にしているなどの違いがあります。利用者の層が本館と亀崎では若干違うということで、少し分類をずらしてあります。統一したほうがよいかどうか、という問題もあります。</p> <p>(委員) 同じシリーズでも本館はテーマごとに分かれています。亀崎ではシリーズで1つにまとまっており、シリーズ全部で他にどのようなものがあるのか見たいときにシリーズでまとまっていると見やすいです。</p> <p>(事務局戸田) 岩波ブックレットがそれにあたります。場所の広さのほか、その分野にどれだけの本があるか、というあたりで固め方が違ってきます。</p> <p>(委員) 本館で慣れると本館の並べ方がわかりやすいです。</p> <p>(館長) 公立図書館でも民間が運営している図書館では、また並べ方が違います。本の大きさを分類しているところもあれば新書は新書、文庫は文庫で分けてあるところもあります。本棚はきれいに見えますが、内容的にはばらばらだったり、作者から探すと全く違う棚にある図書館もあります。</p> <p>(委員) 武豊の図書館も違います。</p> <p>(館長) 通り慣れたところがわかりやすいと思います。</p> <p>(事務局戸田) そのようなときに司書に尋ねていただければと思います。</p> <p>(会長) 他にはよろしいですか。</p> <p>(館長) 図書館協議会は図書館の運営に関して館長に意見を言う機関なので、「こうしたほうがいい」という意見をまたよろしくお願いします。</p> <p>(会長) またありましたらお願いします。</p>
<p>【議題】(2) 平成 27 年度図書館利用状況</p>	<p>(会長) 次に進みます。2番目の平成27年度図書館利用状況等についてです。</p> <p>(事務局榊原) 平成 27 年度の図書館利用状況等についてご説明いたします。</p> <p>図書館概要の 10 ページをお願いします。下段項番7をご覧ください。平成 28 年4月1日現在で、貸出文庫などを含めて本館・亀崎図書館合わせて 510,045 冊の資料があります。今回図書館協議会委員に新しく就任された方が多くいらっしゃいますので、先ほど本館の閉架書庫をご案内させていただきました。</p> <p>なお、資料には記載していませんが、4月1日から子育て支援センターはんだっこにも貸出文庫を設置しております。</p>

11 ページに本館・亀崎図書館の分類別資料数、12 ページには貸出文庫の一般・児童の配本数を記載していますのでご覧ください。

13 ページをお願いします。平成 27 年度の登録者数が本館・亀崎図書館ともに大幅に減少していますが、これは、これまで期限のなかった貸出券の有効期限を5年に定めたことで、5年を経過した登録者 いわゆる有効期限が切れた登録者を除いたためです。

14 ページをご覧ください。平成27年度は本館・亀崎図書館合わせて合計 396,906 名の方にご利用いただきました。本館2階閲覧室等の利用者が大幅に増えていますが、27 年度からボランティア団体が会議室を利用した際の人数も数に入れたことによるものです。表中の図書館事業参加者数には、20 ページ以降の 27 年度の図書館活動実績を載せています。

(2) 館外貸出者数は本館・亀崎図書館ともに近年減少し続けていたものの、27 年度には持ち直しています。

(3) 館外貸出点数を資料の分類ごとに見ますと、亀崎図書館での視聴覚資料が平成 26 年度 855 点から平成 27 年度 1,787 点に大幅に増えているのがわかります。これは、掲示物や目録ファイルの並べ方を見直したり、本に関連する CD をおすすめしたりしたことにより、利用者が増加したことによるものです。

15 ページをお願いします。団体貸出は、登録団体数・貸出冊数ともに増えています。特に市役所関係や市内公共施設への貸出冊数が大幅に増えています。これは 27 年度から亀崎図書館が保健センターに本を貸し出し、健康増進に関するコメントを付けたうえで亀崎図書館に特設コーナーを設置する事業を開始したことによるものです。

次に学校等巡回文庫です。平成 27 年度も保育園20園、幼稚園7園、小学校 13 校と分校1校、中学校5校と分校1校で行いました。貸出回数は全部で 710 回、貸出冊数は 23,385 冊貸でした。

次に貸出文庫をご覧ください。貸出文庫は乙川・有脇・神戸・岩滑の各公民館と、平成 26 年度までは瑞穂町のさくらの家の5か所でした。さくらの家は平成 27 年3月 31 日をもって貸出文庫を廃止したため、一時期は貸出文庫は4か所でしたが、平成 27 年9月1日から板山ふれあいセンターのよつば文庫がスタートし、平成 27 年度末は再び5か所になりました。現在は子育て支援センターはんだっこも入れて6か所です。

平成 27 年度は新規登録者が5館合計で 158 名、利用人数は

1,437名、利用冊数は3,939冊となっております。内訳は、16歳以上の成人と15歳以下の児童の別を見ますと、利用人数・利用冊数ともに成人の利用は若干減っておりますが、児童の利用が増えていることにより、全体の利用人数・利用冊数も増えています。

次に図書館出張便は、平成27年度から始めた事業です。これまでも団体登録のあった施設への図書の貸出しや、申込みのあった施設への読み聞かせを実施してきましたが、平成27年度から新たに施設への図書の配達・回収、そしてブックトークや紙芝居などの出前サービスを追加したものです。

初年度である27年度の利用状況はご覧の表のとおりで、対象は主に介護保険施設です。

16 ページをお願いします。相互貸借及び予約冊数は表のとおりです。

予約冊数で、インターネットでの予約冊数が前年度に比べ3割弱増えています。

17 ページをお願いします。

障がい者サービスです。27年度の利用状況を見ますと、本館・亀崎図書館ともに対面朗読の回数が増えています。大きな要因としては、文音会さんに市民交流センターへ出向いていただき、対面朗読を行なったことです。

証明書発行業務はご覧のとおりです。なお、この証明書発行業務は、マイナンバーカードを使ったコンビニでの証明書交付がスタートしたことを受けて平成28年3月31日をもって図書館での取り扱いを終了しています。

18 ページをお願いします。

図書館活動計数・県内公共図書館利用実績は18ページから19ページの表のとおりです。19ページ下段の表をご覧ください。全国市区町村立図書館の館外個人貸出数で、半田市と同規模の自治体について抜粋しているものです。データは平成25年度のもですが、半田市は全国と同規模の自治体105団体の中で15位に位置しています。

20ページからは、平成27年度図書館活動実績です。参加人数等はいちばん右端に記載しています。主な活動内容については、後ほど28年度の活動予定の中で説明をさせていただきます。

以上で、平成27年度の図書館利用状況等における説明を終わります。

(会長)ありがとうございます。これまでの報告について、何かご質問などはありませんか。

	<p>(委員)複製絵画の展示がとても楽しかったです。</p> <p>(館長)複製絵画 195 点をひと月の期限を切って貸し出しています。</p> <p>(事務局戸田)貸出件数は年間 400 件ほどです。</p> <p>(館長)皆さんに知ってもらおうと、毎月テーマを決めてエントランスに展示をしました。</p> <p>昨年からは始めた新しい事業があり、今までの事業も継続して行っているのですが、司書の負担が大きくなってきています。これ以上になってくると、何かをやめて新しいものをとという取捨選択も今後は出てくるかもしれません。その時には皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>(館長)絵画の講座も行いました。これまで子供相手の講座が多かったので、大人向けの講座を実施しました。またセントラル愛知交響楽団の方を招いて、音楽の講座も行いました。今後も年齢層を広げてこういった講座を行っていきます。</p> <p>(会長)お気づきの点等ございますか。</p> <p>(発言なし)</p>
<p>【議題】((3)平成 28 年度予算及び図書館活動について</p>	<p>(早川館長)「(3)平成 28 年度予算及び図書館活動について」、資料に基づいてご説明させていただきます。</p> <p>資料の 31 ページをお願いします。</p> <p>平成 28 年度の図書館活動の予定を掲載しています。まず「(1)講座・教室・展示会等」をご覧ください。記載のとおり「絵本講座」から「お仕事ファイル」までの6事業を予定しています。「クラシック音楽を楽しもう」は、今年度新たに実施した事業で、半田市と音楽振興を目的に協定を結んでおります「セントラル愛知交響楽団」の協力を得て4月 24 日に開催いたしました。「セントラル愛知交響楽団」や「金城学院大学」のみなさんによるクラシック音楽の演奏や歌声を楽しみながら、曲ができた背景等を学ぶ入門講座です。図書館が所蔵しているクラシック音楽のCDや関連図書の利用促進にも繋げることを狙って実施しました。</p> <p>次に、「お仕事ファイル」は半田市の教育目標であるキャリア教育の一環として、平成 23 年度から実施しており、小学生以上を対象にした事業で、地域で活躍されている様々な職業の方のお話を聴くことより、職業に興味を持ち、参加者の未来設計に役立ててもらうことを目的とした企画です。昨年度までで通算 14 回開催しており、今年度も昨年同様3回の開催を予定しています。現在予定している職業は、第1回目が音楽家、第2回目が海上保安官、第3回目が美容師で、いずれも夏休み期間中に実施する予定です。</p>

また、「獣医さんに学ぶいのちの講座」は、昨年度「お仕事ファイル」で獣医さんの職業について実施したものを、今年度は対象を中学生以上の一般向けに内容を変更して実施するものです。資料としてチラシを配布させていただきました。

続きまして、「(2) 読み聞かせ会、ブックトーク等」をご覧ください。子ども向けに絵本を読み聞かせる「読み聞かせ会」や絵本等を紹介する「ブックトーク」を記載のとおり定期的に開催しています。これらの事業は、主にボランティア団体のご協力により実施できているものであり、図書館活動の一翼を担っていただいております。改めて感謝申し上げます。

続きまして、32 ページをお願いします。

「(3) イベント・行事」についてご紹介します。記載のとおり14のイベント等を実施する予定です。主なものをご紹介します。表の中段少し上の「としょかんまつり」は、本館では7月9日(土)、亀崎図書館では11月27日(日)に、ボランティア団体の協力を得て「おはなし会」、「大型紙芝居」、「ボランティア活動の実演・体験」等を行う予定です。例年多くの方にお越しいただいております。昨年度は本館に2,532人、亀崎に926人の方が参加をいただきました。

次に、その1段下の「ナイトライブラリー&ミュージアム」は、小学生とその保護者を対象に、閉館後の図書館で怖い話を聞き館内を探検するものです。それまで図書館だけで行っていたものを、昨年度は併設する博物館と共同で実施しました。今年度も同様に、博物館と共同で8月4日に実施する予定です。

次に、その4段下の「本の福袋」は昨年度から実施しており、クリスマスプレゼントにヒントを得て、それぞれ袋ごとにテーマに沿った内容の本を中身が分からないように袋詰めした上で、「本の福袋」として貸し出すものです。今年度も昨年度同様にクリスマスシーズンに実施する予定です。

続きまして、33 ページをお願いします。

「(5) 学校等連携支援事業」は、今年度も子どもたちの読書活動を推進するため、学校図書館と連携して記載の5つの事業を実施する予定です。主なものとして、「学校でのブックトーク、読み聞かせ」は、図書館の司書が小中学校を訪問し、担任教諭から要望があったテーマで授業時間に、ブックトークや読み聞かせを行うものです。昨年度は、市内小中学校 202 クラスで実施しました。

次に、「どくしょつうちょうの活用」は、読書や図書館に親しむきっかけとし、児童の読書意欲を高めてもらうことを目的に作成していました「どくしょつうちょう」について、今年度は、新た

に小学1年生向けに、「どくしょつうちょう しょうがく1ねんせい」を作成し、夏休み前に配布する予定です。本物はカラー印刷ですが、お手元には白黒のものをお配りしてありますので、ご確認ください。

続きまして、「(6)読書感想画コンクール」は、今年度も、南吉作品に親しむ機会を増やし、感想を絵にすることで、表現力を養うとともに読書活動の振興を図ることを目的に「新美南吉読書感想画コンクール」を開催します。図書館で行う表彰式には、毎年入賞者の保護者の方も多くご参加いただいております。

続きまして「(7)読書手帳」は、カラー刷りの見本をお手元にお配りしてありますので、ご覧ください。ほとんどの新生児とその保護者が受診する保健センターでの3ヶ月健診の際に、この「読書手帳～あかちゃんだって本がすきっ！～」を配布し、赤ちゃんのうちから絵本を読むことの大切さを分かりやすくお伝えすることにより、図書館の利用に繋げることを目的としています。昨年度まで配布していた「赤ちゃん向けの絵本リスト」を今年度から手帳形式に変更したものです。

続きまして、34 ページをお願いします。平成28年度の予算概要です。

資料のとおり、図書館費総額は 37,982 千円です。内訳として項番1の「図書館一般事務」は、消耗品費や修繕費、講座の講師謝金等に関する予算で、6,912 千円です。昨年度と比較して2,472 千円の増額となっています。主な増額要因は、本館の開架室のクロスを張り替えたことや、本を 24 時間いつでも返却できるブックポストを新たに4つの公民館に増設することによるものです。項番2の「図書館資料整備事業」は、図書やCD、DVDの視聴覚資料等を購入する予算で、31,070 千円です。前年度と比較して、1,527 千円の減額となっていますが、主な減額要因としては、減額した分の予算を、先ほどご説明した開架室のクロス張り替え等、図書館の利用環境を向上させる費用に期間を絞って移行したためです。次に、項番3の「図書館読書推進事業」は、(注1)に記載がありますように、郷土作家などを紹介する企画展に係る予算でしたが、一定の成果を上げたことから、27 年度で事業を終了したため、28 年度予算はなくなっています。今後は、この事業の成果を生かして、貴重な資料のPRや郷土文化の情報発信に努めていきます。

以上で説明を終わらせていただきます。

(会長)ありがとうございます。これだけのことを行うのは大変なことだと改めて感じた。ご意見がありましたらお願いします。

(委員) 図書館関係で2点、学校関係で3点申し上げます。

図書館関係で、

1、図書館の職員が安心して働ける環境を作っていただきたい。司書でも全く違った職を担当しなければならないことがあると伺いました、司書が安心して知識や経験を深められるように配慮していただけたらと思います。

2、ブックトークを各学校に行っていてされているのは素晴らしいことです。技術を身に着けるのは大変なことだと思いますので、百聞は一見に如かずで、司書に全国の研究大会に出席する機会を与えてほしいと思います。

3. 現代ではインターネットでいろいろな調べ学習ができますが、インターネットの情報をそのままコピーすることが問題になっています。現在の中学2年か3年生から大学入試のやり方も変わります。「調べ学習ブックお届け便」をもっと活用するために、「学び方を学ぶ」方法を図書館から各学校に知らせていけば、調べ学習の活用も増えていくのではないかと思います。

学校関係では、

1. 読書好きな子供が多くてうれしい限りです。不読率も少ないが朝の読書を小中学校すべてで行なっているのにもかかわらず小学校の不読率が7.4%、中学校で11.3%なので、これを限りなくゼロに近づけるために、子供たちに「読め」というばかりでなく周りの大人も読まなければなりません。担任の先生と一緒に読むことで子供たちも「読もうかな」と思うきっかけになると思います。世界でフィンランドが学力優秀国と話題になりましたが、子供だけでなく大人も本を読んでいるという報告がされています。周りの大人が読まなければ、子どもたちも読まないのではなないかと思います。

2. 学級文庫の充実。子供たちの一番手の届くところに新しい魅力的な本が置かれていることが大切。もちろんおいているとは思いますが、徹底して推進すればもっともつと不読率が減るのでと思います。校長会とかで話していただけるとありがたいです。

(館長) 貴重な意見をありがとうございました。できることからやっていきたいと思います。

(会長) 予定した議題は終了いたしました。せっかくの機会です、議題以外のことでも図書館に対しご意見、ご質問などあればご発言をお願いします。

(委員) 建て替えの予定はありますか。

(館長) 建て替えの予定はありません。図書館の建物が築後32年ですが、鉄筋の建物は約50年、補強すれば80年持つと

<p>その他</p>	<p>言われています。</p> <p>(委員)新しくできた図書館は魅力的なところが多いと思います</p> <p>(館長)現状では駐車場が不足しています。大きくすればさらに駐車場が足りなくなります。</p> <p>(委員)昭和20年ぐらい生まれの人が70代、80代ぐらいになってきます。この世代へのサービスを考えないといけませんね。</p> <p>(館長)スマートフォンや電子書籍が急激に普及しましたが、あと10年すれば図書館の形態もどう変化していくかわかりません。</p> <p>(委員)電子書籍でも目で読むしかないので大変です。</p> <p>(委員)電子書籍は、画面の文字を目で追うのが大変ですね。</p> <p>(事務局)最近の電子書籍は、ページをめくるような感覚で読めるので、始めの頃よりはかなり使いやすくなっています。</p> <p>(委員)読書通帳や読書手帳はどれくらい利用されていますか。</p> <p>(館長)読書手帳は新生児へ年間1,000人。3か月健診時に配るので約97%が受診します。図書館でも配布しています。</p> <p>(委員)何歳まで使えるのですか。</p> <p>(館長)読書手帳は新生児の頃に使うもので、保護者が記入します。子どもが自分で書くではありません。</p> <p>読書通帳は子どもが自分で記入します。国語部会監修のもと新一年生用を作りました。来年度、低・中・高学年用に3種類作ろうと考えています。</p> <p>(委員)低学年はいいが3年生とかになるとどうなのかな、と思っていました。</p> <p>(館長)学年全員に配り、今年新1年生で貸出券を持っていない子に貸出券登録の案内をしました。</p> <p>(委員)としょかんまつりのときに録音体験をやっています。25枚限定で2組交替で録音しています。毎年お母さんと一緒にデイジーの録音に来てくれる子どももいます。今の子は読むのが上手です。</p> <p>(委員)本を付けて一緒に配るといい。</p> <p>(館長)本については、現在のところ購入しない方針です。</p> <p>(委員)それはなぜですか。</p> <p>(館長)本は親に買ってほしいという意見もあるし、自分で選んでもらいたいというのが市の考え方です。買って与えるのとは別の方法で本に親しんで考えていきたいということです。</p> <p>(委員)今年の3月に美浜町図書館に行きましたが、たくさんのお母さんや子供たちが読み聞かせのボランティアをしてく</p>
------------	--

た。それはブックスタート事業をきっかけに始まったそうで、職員に尋ねると5年前から行っているとのことでした。美浜町はNPO ブックスタートというところから絵本を購入して4か月健診の時に渡しているそうです。また、南知多町も昨年からはじめているということです。

(館長)それらの情報はすべて把握しています。他の自治体と同じように本を買うという方法だけでなく、別の方法も考えていきたいと思っています。

(委員)保育園では毎月1回本をもらってくることがありましたが、注文して買うのではなかったはずですが。

(事務局)保育園の教材費の中から購入しているはずですが。

(委員)ブックスタートで贈った本が、本に親しむ第一歩になればいいと思います。

(館長)今年度ブックスタート事業を検討していきます。昨年策定した子ども読書活動推進計画にも項目が載っており、ブックスタートの研究をすると明言されています。方法について今年度、市とボランティアさんと考えていくため、他の自治体の視察をすることになっています。ブックスタート事業の視察することになっている。来週西尾市を視察する予定です。

(会長)子供の読書のために何が大事か考えながら進めていきたいと思っています。また、小さいころから親子で本に親しむことは大事なことだと思います。

(館長)本を与えるだけではなく、ブックスタートについてもいろんな方法があると思います。本を買えない親もいるかもしれない。本に親しんでもらうのに赤ちゃんの時から取組が大切だということはわかっています。それによって、読書好きな子どもが半田市でも増えてきていますが、他の市町と同じ方法がよいのかどうか勉強させていただきたいと思っています。

(委員)ブックスタートの目的は、読書好きな子どもを増やすことではなく、赤ちゃんとも母親のコミュニケーションの時間を持つことにあります。

(館長)来年度以降も保健センターでブックスタートを行ってきたいと思っています。親御さんや保健センターと一緒に子育ての一環として考えていく、というスタンスで取り組んでいきます。

(教育長)ただ本を渡しただけでは本を読んでもらえるかどうかはわからない。読み聞かせの大切さをきちんと理解してもらったうえで、本を贈るのがよいと思います。

また小さい子を連れてこられる環境を整えるなど、いろいろなことを考えながら前向きに検討していきます。

(委員)赤ちゃんがお乳を飲むのと同じように自然に本を、と

我々が思えばお母さんたちにも伝わるでしょうし、本をあげたのに読まないかもしれないということは、あまり心配しない方がよいと思います。

(会長)ありがとうございます。いろいろな状況から判断されると思いますので、考えていきたいと思います。

(会長)今日の議題は全て終わりましたが、その他、事務局から何か連絡事項がありましたらお願いします。

(事務局)雑誌スポンサーのチラシをご覧ください。この制度は市の収益事業として税込以外で財源を充実していこうという取組みのひとつです。すでにいくつかの図書館で始まっていますが、雑誌の購入金額を商店等に負担していただく代わりに、最新号のカバーの裏表紙に広告を掲載する。雑誌は図書館で決めたリストの中から選んでいただきます。自分の商店の顧客層が好む雑誌を選んでもらうことで、高い広告効果が期待できます。本年度からスタートする予定ですが、ポスターやチラシだけではスポンサーの応募があるかどうかわからないので、今後の状況によっては、直接働きかけも必要と考えています。なるべく多くのスポンサーに参加していただけるよう努めます。

(館長)補足します。現在図書館で購入している雑誌の代金の肩代わりではなく、新たに購入雑誌を増やすということです。スポンサーが降りた場合に今まで購入していた雑誌の購入ができなくなるのを避けるためです

(館長)次回開催は、平成 29 年 2 月を予定していますので、日程を調整して連絡させていただきます。これをもちまして平成 28 年度第 1 回半田市図書館協議会を閉会いたします。